

2019年度

# 事業計画書

社会福祉法人はまなす福祉会

保育所型認定こども園  
大畑中央保育園

2019年度  
 保育所型認定こども園 大畑中央保育園  
 事業計画

1. 保育理念

養護及び教育を一体的に行い、子どもの健やかな育ちを支援し、地域の人々との交流を図り、福祉の増進を図る。

2. 保育指針

- (1) 子どもの個性を大切にし、安心して過ごせる保育環境を整備する。
- (2) 地域の人々と関わる中で集団行動のマナーを培う。
- (3) 一人ひとりの保護者の思いを受け止め支援する。
- (4) 発達に応じた活動ができるよう健康な心身の育成を図る。
- (5) 大人や、子どもの関わりの中で信頼関係をつくる。
- (6) 人の話を聞いたり、自分の思いを伝える中で考える力を育てる。

3. 保育目標

- (1) がんばる子
- (2) なかよくする子
- (3) いっぱいあそぶ子

4. 地域環境（本園の特徴）

近くに、むつ市大畑庁舎・大畑小学校・中央公民館・中島児童館の公共施設が多数あり、街の中心に位置しながらも、海・川・山に囲まれた自然豊かな環境である。園庭も広く、草木や花等を鑑賞しながら、園児の戸外散歩には最適な環境である。

むつ市で初めての保育所型認定こども園としての保育内容は、小学校とのつながりを考えた文字や数のおけいこ・英語・体操・音楽等をゲームや遊びの中に取り入れている。「好奇心の芽」を育てる活動などを積極的に実施し、「知育」「徳育」「体育」を基本としたメリハリのある保育活動をしている。また、子ども赤十字活動及び楽器演奏、遊戯披露などで地域に対するボランティア活動を行い、児童の心の成長も高めている。健康面では看護師や栄養士による「家庭生活のあり方」「食生活のあり方」などの実践講座を通して家庭での疾病予防や食生活の援助(相談)なども推進している。

5. 事業者概要

施設名	保育所型認定こども園 大畑中央保育園	開設年月日	平成27年4月1日
代表者氏名	理事長 池田 由美子	改築年月日	平成14年4月1日
設置主体	社会福祉法人はまなす福祉会	定員	90人(認定こども園関係15人、含)
所在地	〒039-4401 青森県むつ市大畑町中島4-6		
電話番号	0175-34-5100		
メールアドレス	<a href="mailto:hamanoko@aioros.ocn.ne.jp">hamanoko@aioros.ocn.ne.jp</a>		

6. 基本事業

○施設の主な行事	○特別保育事業
<p>春：入園式、遠足、交通安全教室、保育参観                      夏：夕涼み会・ねぶた運行、ボランティア受入（大畑中）、大畑ふるさとまつり参加、お化け屋敷ごっこ                      秋：遠足、運動会、商工会まつり参加、音体フェスティバル参加、おどまり保育、ふれあい体験、インターンシップ（大畑中・大湊高）、保育参観                      冬：お遊戯会、もちつき会、テーブルマナー、クリスマス会、お店屋さんごっこ、そり遊び、豆まき集会、体操発表会、卒園式</p>	<p>子育て支援 ぼかぼかルーム                      家庭保育児対象                      月～金曜日（10：00～15：00）</p> <p>一時保育 一時預かり保育                      8：00～16：00                      一日2,100円                      （給食・おやつがでます）</p>
<p>※父母の会役員会にて行事内容の検討</p>	

○施設概要（居室・外部）

<p>保育室（5） ほふく室（1） 遊戯室（1） トイレ（5） 子育て支援室（1） 調理室（1）                      医務室（1） 用具室（2） ボイラー室（1） ベランダ（2） ねぶた小屋（1） 外小屋（2）</p>
--

○職員配置・嘱託医

職 種	人 数	職 種	人 数
園 長	1	栄養士	1
主任保育士	1	調理師	2
保育士	12	用務員	1
子育て支援員	2	運転手(委託)	1
准看護師	1	内科医（前田医院）	1
事務主事	1	歯科医（上條歯科）	1
保育補助員	2		

# 2019年度 保 育 課 程

大畑中央保育園

園 長 宮 木 みつ子

## 1 保育課程編成の基本的な考え方

保育の質の向上を目指すためには、保育指針に従って全職員で保育方針、目標について共通理解を持ち、それに基づき計画的に保育を実施していくことが大切である。そのため、平成30年度の計画を見直し保護者から各行事後のアンケート等を参考に、全職員（子育て支援事業も含めて）で組織的に取り組み今年度の保育課程を編成した。

今年度の保育課程編成については我々職員が昨年度の保育課題（昨年度実践後の改善点・課題・他）を見直し、本園の実態等を考慮し、どのようにすれば子ども達一人一人を望ましい方向に導くことができるのか（非認知能力の育成）具体的に考えてみた。また、保育所型認定子ども園として遊びを通しての幼児教育を主に実践し、各年齢に相応しい生活面・体力面での基礎・基本を身につけさせたい。

## 2 今年度の保育経営の方針予定

### (1) 非認知能力の育成を目指した保育園でありたい。

子どもは生まれてから周囲の世界に適応しながら生きていくことを学び、まず最初に基本的な生活習慣を身に付けていくと思う。その中で自分というものを意識し始めて、他との交流を図り、時にはぶつかり合ったりしながら成長していくと考えられる。また、自分の能力に自信を持っていろいろなことに挑戦したり、あるいは自分と他者との関わりの中で自分をコントロールしながら成長すると考えられる。このような様々な経験を通して、非認知能力を育てていくことが重要である。

※非認知能力：自分に関する力(自尊心、自己肯定感、自立心、自制心、自信など)

人に関わる力(協調性。共感する力、思いやり、社交性、良いか悪いか知る道徳性など)

### (2) 全力で取り組む活気ある保育園を目指したい。

基本的には、職員は子ども達・保護者に教えられ専門職として成長すると考えてほしい。子ども達にとって「楽しい保育園」であるためには、保育士(職員)と子ども達との好ましい人間関係の築くことが大切である。そのためには、保育活動の充実が必要であり、行事などでの計画、実践、評価・反省、改善することが活気ある保育園につながると思う。

また、子ども達の一人一人の良さを認め、褒め、次のステップに希望を持たせて、時には、駄目なことは駄目であると毅然と言える厳しさ、時には優しく見守ってあげることも活気ある保育園に結びつくと考えている。

### (3) 小学校とつながりを大切に作る保育園にしたい。

小学校へ夢を持って入学できる保育園を目指し、体力の向上、文字のおけいこ(文字あそび)、数のおけいこ(数あそび)、英語教室、音楽教室、読み聞かせ、その他を計画的に取り組み、スムーズに小学校教育に入れるように未満児から組織的な取り組みをしたい。そのためには、各年齢に応じた集中力を身につけさせ、職員の積極的なアイデアが必要である。

(4) 夢と希望に満ちあふれた明るい保育園を目指したい。

保育園は、子ども達にとって「楽しい場所」でなければならない。その楽しさは、新しいことを知り、経験し、友達や職員に自分を認めてもらう楽しさ、仲間と共に遊ぶ楽しさを感じる楽しさであると思う。また、職員同士が互いに信頼できる人間関係が確立され、生き甲斐を持って仕事ができる環境づくりに努める。

(5) 「プロ」としての高い意識を持った職員集団を目指したい。

子ども達にとっては、私たちの存在は非常に大きい存在である。そのためには、一つ一つの取り組みを大切に、目標（課題）を達成するために、様々なアイデアを出しながら保育用具等の工夫を図り、いかに子ども達を集中させるかが非常に大切になる。子ども達にとって魅力のある職員を目指し、「プロ」としての高い専門性（意識）を持ち続け常に共通した意識を持った（一枚岩：強固な団結・組織）職員集団であってほしい。

(6) 保護者や地域の人々の信頼に応える保育園を目指したい。

理不尽な保護者への対応に追われることもあるが、職員の熱意ある対応や緻密な保育実践が保護者の意識を変えることに繋がると考える。そのような積み重ねがあると、保護者や地域の人々は、これまで以上に担任や保育園に協力すると思う。

保護者の目は鋭く、厳しさや、温かさもあると思う。保護者は、子どもを持つ親としての経験、苦勞、熱意は私たちを凌ぐものがある。我が子を伸ばしたいと願う保護者の願いに応える保育園でありたい。

そのためには、認証評価制度の導入や保育園からの様々な情報発信（ホームページの更新、保育園だより・その他）に努めると共に、保育園の評価をしてもらう事も必要であり、地域への行事等へ積極的に参加し地域に開かれた取り組みを実践していきたい。

### 3 保育課題

- (1) 心を育てるレベルの高い保育の充実（年齢応じた保育活動、その他）
- (2) 生活面における基礎・基本の充実（思いやりのある言動、規範意識の高揚、配慮の必要な園児への支援、その他）

### 4 課題解決のための具体目標（重点項目）

- (1) 「心を育てる保育の充実」・・・全保育活動を通して
  - ① 保育のねらいを明確にし、乳幼児期の発達の特長や連続性を踏まえ、柔軟性を持って保育を展開し子ども達の心へ訴えるような取り組みに努める。
  - ② 「体操教室」「英語教室」「読み聞かせ」などでの外部講師の子ども達への場面に応じた言葉がけなどを参考にし、日常の保育活動に心を育てるような工夫を図ることに心がける。

(2) 「生活面における基礎・基本(乳幼児期的人格形成の基礎作り)の充実」

①一人一人の子どもの発達過程として理解し、人間形成の最も基盤となる時期であることを十分認識する。

②全保育活動を通して子どもの良さを認め、褒め、成就感を持つことができるように工夫し、時には駄目なことは駄目と厳しさも持ちながら、活気ある保育園づくりに努める。

## 5 保育理念・保育指針・保育目標

(1) 保育理念

養護及び教育を一体的に行い、子どもの健やかな育ちを支援し、地域の人々との交流を図り、福祉の増進を図る。

(2) 保育指針

※子どもの心を育てることを念頭に入れながら次の指針を大切にする。

- ・子どもの個性を大切にし、安心して過ごせる保育環境を整備する。
- ・地域の人々と関わる中で集団行動のマナーを培う。
- ・一人ひとりの保護者の思いを受け止め支援する。
- ・発達に応じた活動ができるよう健康な心身の育成を図る。
- ・大人や子どもの関わりの中で信頼関係をつくる。
- ・人の話を聞いたり、自分の思いを伝える中で考える力を育てる。

(3) 保育目標

・がんばる子(知育)・なかよくする子(徳育)・いっぱいあそぶ子(体育)

保育計画一覧表(2019年度)

◎保育目標 ・がんばる子(知育) ・なかよくする子(徳育) ・いっぱいあそぶ子(体育)			◎地域の実態に対応した事業 ○地域の行事(ふるさと祭り、商工祭り、その他)に積極的に参加する。 ○保護者参加の園行事(運動会、ねぶた運行・夕涼み会、その他)へ地域の方の自由参加の呼びかけ ○延長保育実施(18:00~18:30)			保育時間 7時00分~18時00分																																																																																								
◎発達過程とクラスの相関性 6年齢別に生活を送るが、保育内容の8つの発達段階を前提に指導計画を作成する。また、子ども一人ひとりの成長段階を踏まえ養護と教育が一体となり保育が展開されるようにする。		◎基本的社会的責任 ○職員は、保育の営みが子どもの人権を守秘法的、制度的に裏付けられていることを認識し理解する。 ○保育園だより、給食だよりの配布 ○小学校との連携		◎子どもの発達過程とクラスの相関性 6年齢別に生活を送るが、保育内容の8つの発達段階を前提に指導計画を作成する。また、子ども一人ひとりの成長段階を踏まえ養護と教育が一体となり保育が展開されるようにする。																																																																																										
子どもの保育目標	0歳児	個々の生活リズムを整え、健康的に過ごす。	2歳児	衛生的で安全な環境の中で体を動かすことと友達や生活を送る。	4歳児	体操その他の様々な活動を通して集団行動ができるようになると共に心身の健康を図る。																																																																																								
	1歳児	安心できる保育者との関係の下で自分自身でしようとする気持ちが芽生える。	3歳児	基本的な生活習慣を身につけて生活の中で活動を楽しむ。	5歳児	生活や遊び、マーチング、体操、英語、生活等を取り組む中で達成感や喜びを味わう。																																																																																								
保 育 の 内 容																																																																																														
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>0歳児</td> <td>1歳児</td> <td>2歳児</td> <td>3歳児</td> <td>4歳児</td> <td>5歳児</td> </tr> <tr> <td>養</td> <td>生命の保持 心身の状態を細かく観察し、快適に生活できるように工夫する。</td> <td>特定の保育士との信頼関係が更に深まり愛着関係が育まれるように接する。</td> <td>保健的で安全な環境をつくり、快適に過ごせるようにする。</td> <td>発育、発達状態をよく把握し適切に対応できるように配慮する。</td> <td>運動量の増加を図り、活発に活動できるように配慮する。</td> <td>園の生活リズムに慣れ身の回りのことは自分で行うようとする意欲を育てる。</td> </tr> <tr> <td>護</td> <td>情緒の安定 発達過程などを的確に把握し応答的な触れ合いや言葉がけを行う。</td> <td>スキンシップにより、保育士との関わり心地良さや安心感を得るようにする。</td> <td>子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いているように配慮する。</td> <td>子どもとの信頼関係をより深め、安心して自己発揮できるようにする。</td> <td>十分な発育、発達と情緒の安定を図るようにする。</td> <td>就学前の緊張や不安を受け止め情緒の安定した生活ができるようにする。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">教 育</td> <td>健康 安定した人間関係の中で食事、排泄などしてもらい心地良い生活を送れるように工夫する。</td> <td>保育士との関係のもとで、身の回りこと自分でしようとする意欲を育てる。</td> <td>生活の中で援助してもらいながら自分でできたことに喜びを感じることができるようになる。</td> <td>快適に過ごすための方法(汗をふく、着替える、運動と食事、休息の関係など)を知り自分の身体を守るように配慮する。</td> <td>自分の身体に興味を持ち、異常を感じたら自分から保育士等知らせる。</td> <td>健康、安全に必要な基本的な習慣や態度が身に付き生活できるように指導する。</td> </tr> <tr> <td>人間関係 保育士の愛情豊かな受容により気持ちのよい生活ができるように配慮する。</td> <td>保育士や友だちに関心を持ち真似をしたりして自ら関わろうとする。</td> <td>受容されることにより、自分の気持ちを安心して表すことができるように工夫する。</td> <td>友だちとのやりとりの中で簡単な決まりやルールがあることを知り、守らせる。</td> <td>保育士や友だち等の中で生き生きと遊びたい気持ちを持つことができるように配慮する。</td> <td>友だち等との安定した生活の中で意欲的に遊び、人に迷惑をかける人の立場を考慮できるように配慮する。</td> </tr> <tr> <td>環境 安心できる人的及び物的環境の下で感覚の働きを豊かにする。</td> <td>好きな玩具や遊具に興味を持ち様々な遊びを楽しむように配慮する。</td> <td>季節ごとの自然物に興味を持ち触れ合う中で好奇心と探究心が生まれるように配慮する。</td> <td>身近な動植物に親しみをもち世話することで生命の尊さに気づかせる。</td> <td>身近な物や遊具に興味を持ち関わり考えたり試したりして遊ぶことができるようになる。</td> <td>身近な事物や事象に積極的に関わり見たり扱ったりし、その性質や数、量、形、文字などへの関心を深めさせるようにする。</td> </tr> <tr> <td>言葉 喃語に应答したりして発語の意欲を持てる。</td> <td>言葉のやりとりの楽しさや、言葉が促されることにより、言葉を使う楽しさを味わえるようにする。</td> <td>言葉への興味や関心を持ち、繰り返しのある言葉の模倣や、やり取りを楽しむようにする。</td> <td>生活や遊びに必要な言葉を身につけさせる。</td> <td>日常生活に必要な挨拶をしたり友だちとの会話を楽しめるようにする。</td> <td>人の話を聞いたり身近な文字に触れたりして、言葉への興味を広げさせる。</td> </tr> <tr> <td>表現</td> <td>いろいろな物に触れ全身で感触を楽しむ感性を育む。</td> <td>保育士と一緒に手遊びをしたり、歌ったり、リズムに合わせて身体を動かして遊べるようにする。</td> <td>いろいろな素材や用具に親しみいろいろな物を楽しむように工夫する。</td> <td>音楽に親しんだり絵本や紙芝居に親しみをもち遊べるように工夫する。</td> <td>音楽に親しみ友だちと歌ったり合奏したり一つのものを作り上げる楽しさを味わえるようにする。</td> <td>自分のイメージを動きや言葉などで表現したり演じて遊ぶ楽しさを味わわせ、体操や英語教室、マーチングなどに目標を持って取り組むように工夫する。</td> </tr> <tr> <td>食 育</td> <td>食を営む力の基礎 適切な援助により、食に対する意欲を持てるように配慮する。</td> <td>色々な食べ物を見たり、味わったりし、食材に興味を持てるように工夫する。</td> <td>様々な食材を感じ、意欲的に食べることができるよう食育に努める。</td> <td>健康・安全など、食生活に必要な基本的な習慣や態度を身につけさせる。</td> <td>できるだけ多くの種類の食べ物でも調理を味わい、苦手なものでも食べようとする気持ちを育てる。</td> <td>物番活動、栽培活動、絵本、エプロンシアター等を通して、食べ物への関心を高め、食事をとろうとする態度を育てる。</td> </tr> <tr> <td>健康支援</td> <td colspan="3">・健康発育発達状況の把握 ・心身状態や家庭生活、養育状態の把握 ・内科、歯科健診(年2回) ・異常が認められた時の対応</td> <td>研修計画</td> <td colspan="2">・県外研修 ・県保連主催の研修会 ・園内研修(保育内容、ケース会議) ・県保連むつ支部年齢別部会 ・研修報告会</td> </tr> <tr> <td>環境・衛生管理</td> <td colspan="3">・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒及び消毒、安全管理及び自主点検 ・全職員の検体</td> <td>特色ある保育</td> <td colspan="2">・文字のおけいこ(文字遊び)、数のおけいこ(数あそび)、体操教室、英語教室、マーチング教室、読み聞かせなどの取り組み</td> </tr> <tr> <td>安全対策事故防止</td> <td colspan="3">・毎月の避難訓練(火災、地震、不審者対応) ・消防署査察、防火設備点検、消火訓練 ・交通安全教室</td> <td>地域行事参加</td> <td colspan="2">・老人ホーム等、福祉施設での、遊戯・マーチング等の発表 ・ふるさとまつり、商工まつりへの参加</td> </tr> <tr> <td>保護者・地域への支援</td> <td colspan="3">・育児相談事業 ・実習生、職場体験、ボランティアの受け入れ ・地域子育て支援センターの開設(支援室)</td> <td>自己評価</td> <td colspan="2">・保育園の評価(全体の反省による保育課程の反映) ・保育士の評価(自己評価と子ども評価の確立)</td> </tr> </table>								0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	養	生命の保持 心身の状態を細かく観察し、快適に生活できるように工夫する。	特定の保育士との信頼関係が更に深まり愛着関係が育まれるように接する。	保健的で安全な環境をつくり、快適に過ごせるようにする。	発育、発達状態をよく把握し適切に対応できるように配慮する。	運動量の増加を図り、活発に活動できるように配慮する。	園の生活リズムに慣れ身の回りのことは自分で行うようとする意欲を育てる。	護	情緒の安定 発達過程などを的確に把握し応答的な触れ合いや言葉がけを行う。	スキンシップにより、保育士との関わり心地良さや安心感を得るようにする。	子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いているように配慮する。	子どもとの信頼関係をより深め、安心して自己発揮できるようにする。	十分な発育、発達と情緒の安定を図るようにする。	就学前の緊張や不安を受け止め情緒の安定した生活ができるようにする。	教 育	健康 安定した人間関係の中で食事、排泄などしてもらい心地良い生活を送れるように工夫する。	保育士との関係のもとで、身の回りこと自分でしようとする意欲を育てる。	生活の中で援助してもらいながら自分でできたことに喜びを感じることができるようになる。	快適に過ごすための方法(汗をふく、着替える、運動と食事、休息の関係など)を知り自分の身体を守るように配慮する。	自分の身体に興味を持ち、異常を感じたら自分から保育士等知らせる。	健康、安全に必要な基本的な習慣や態度が身に付き生活できるように指導する。	人間関係 保育士の愛情豊かな受容により気持ちのよい生活ができるように配慮する。	保育士や友だちに関心を持ち真似をしたりして自ら関わろうとする。	受容されることにより、自分の気持ちを安心して表すことができるように工夫する。	友だちとのやりとりの中で簡単な決まりやルールがあることを知り、守らせる。	保育士や友だち等の中で生き生きと遊びたい気持ちを持つことができるように配慮する。	友だち等との安定した生活の中で意欲的に遊び、人に迷惑をかける人の立場を考慮できるように配慮する。	環境 安心できる人的及び物的環境の下で感覚の働きを豊かにする。	好きな玩具や遊具に興味を持ち様々な遊びを楽しむように配慮する。	季節ごとの自然物に興味を持ち触れ合う中で好奇心と探究心が生まれるように配慮する。	身近な動植物に親しみをもち世話することで生命の尊さに気づかせる。	身近な物や遊具に興味を持ち関わり考えたり試したりして遊ぶことができるようになる。	身近な事物や事象に積極的に関わり見たり扱ったりし、その性質や数、量、形、文字などへの関心を深めさせるようにする。	言葉 喃語に应答したりして発語の意欲を持てる。	言葉のやりとりの楽しさや、言葉が促されることにより、言葉を使う楽しさを味わえるようにする。	言葉への興味や関心を持ち、繰り返しのある言葉の模倣や、やり取りを楽しむようにする。	生活や遊びに必要な言葉を身につけさせる。	日常生活に必要な挨拶をしたり友だちとの会話を楽しめるようにする。	人の話を聞いたり身近な文字に触れたりして、言葉への興味を広げさせる。	表現	いろいろな物に触れ全身で感触を楽しむ感性を育む。	保育士と一緒に手遊びをしたり、歌ったり、リズムに合わせて身体を動かして遊べるようにする。	いろいろな素材や用具に親しみいろいろな物を楽しむように工夫する。	音楽に親しんだり絵本や紙芝居に親しみをもち遊べるように工夫する。	音楽に親しみ友だちと歌ったり合奏したり一つのものを作り上げる楽しさを味わえるようにする。	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり演じて遊ぶ楽しさを味わわせ、体操や英語教室、マーチングなどに目標を持って取り組むように工夫する。	食 育	食を営む力の基礎 適切な援助により、食に対する意欲を持てるように配慮する。	色々な食べ物を見たり、味わったりし、食材に興味を持てるように工夫する。	様々な食材を感じ、意欲的に食べることができるよう食育に努める。	健康・安全など、食生活に必要な基本的な習慣や態度を身につけさせる。	できるだけ多くの種類の食べ物でも調理を味わい、苦手なものでも食べようとする気持ちを育てる。	物番活動、栽培活動、絵本、エプロンシアター等を通して、食べ物への関心を高め、食事をとろうとする態度を育てる。	健康支援	・健康発育発達状況の把握 ・心身状態や家庭生活、養育状態の把握 ・内科、歯科健診(年2回) ・異常が認められた時の対応			研修計画	・県外研修 ・県保連主催の研修会 ・園内研修(保育内容、ケース会議) ・県保連むつ支部年齢別部会 ・研修報告会		環境・衛生管理	・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒及び消毒、安全管理及び自主点検 ・全職員の検体			特色ある保育	・文字のおけいこ(文字遊び)、数のおけいこ(数あそび)、体操教室、英語教室、マーチング教室、読み聞かせなどの取り組み		安全対策事故防止	・毎月の避難訓練(火災、地震、不審者対応) ・消防署査察、防火設備点検、消火訓練 ・交通安全教室			地域行事参加	・老人ホーム等、福祉施設での、遊戯・マーチング等の発表 ・ふるさとまつり、商工まつりへの参加		保護者・地域への支援	・育児相談事業 ・実習生、職場体験、ボランティアの受け入れ ・地域子育て支援センターの開設(支援室)			自己評価	・保育園の評価(全体の反省による保育課程の反映) ・保育士の評価(自己評価と子ども評価の確立)	
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																																																								
養	生命の保持 心身の状態を細かく観察し、快適に生活できるように工夫する。	特定の保育士との信頼関係が更に深まり愛着関係が育まれるように接する。	保健的で安全な環境をつくり、快適に過ごせるようにする。	発育、発達状態をよく把握し適切に対応できるように配慮する。	運動量の増加を図り、活発に活動できるように配慮する。	園の生活リズムに慣れ身の回りのことは自分で行うようとする意欲を育てる。																																																																																								
護	情緒の安定 発達過程などを的確に把握し応答的な触れ合いや言葉がけを行う。	スキンシップにより、保育士との関わり心地良さや安心感を得るようにする。	子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いているように配慮する。	子どもとの信頼関係をより深め、安心して自己発揮できるようにする。	十分な発育、発達と情緒の安定を図るようにする。	就学前の緊張や不安を受け止め情緒の安定した生活ができるようにする。																																																																																								
教 育	健康 安定した人間関係の中で食事、排泄などしてもらい心地良い生活を送れるように工夫する。	保育士との関係のもとで、身の回りこと自分でしようとする意欲を育てる。	生活の中で援助してもらいながら自分でできたことに喜びを感じることができるようになる。	快適に過ごすための方法(汗をふく、着替える、運動と食事、休息の関係など)を知り自分の身体を守るように配慮する。	自分の身体に興味を持ち、異常を感じたら自分から保育士等知らせる。	健康、安全に必要な基本的な習慣や態度が身に付き生活できるように指導する。																																																																																								
	人間関係 保育士の愛情豊かな受容により気持ちのよい生活ができるように配慮する。	保育士や友だちに関心を持ち真似をしたりして自ら関わろうとする。	受容されることにより、自分の気持ちを安心して表すことができるように工夫する。	友だちとのやりとりの中で簡単な決まりやルールがあることを知り、守らせる。	保育士や友だち等の中で生き生きと遊びたい気持ちを持つことができるように配慮する。	友だち等との安定した生活の中で意欲的に遊び、人に迷惑をかける人の立場を考慮できるように配慮する。																																																																																								
	環境 安心できる人的及び物的環境の下で感覚の働きを豊かにする。	好きな玩具や遊具に興味を持ち様々な遊びを楽しむように配慮する。	季節ごとの自然物に興味を持ち触れ合う中で好奇心と探究心が生まれるように配慮する。	身近な動植物に親しみをもち世話することで生命の尊さに気づかせる。	身近な物や遊具に興味を持ち関わり考えたり試したりして遊ぶことができるようになる。	身近な事物や事象に積極的に関わり見たり扱ったりし、その性質や数、量、形、文字などへの関心を深めさせるようにする。																																																																																								
	言葉 喃語に应答したりして発語の意欲を持てる。	言葉のやりとりの楽しさや、言葉が促されることにより、言葉を使う楽しさを味わえるようにする。	言葉への興味や関心を持ち、繰り返しのある言葉の模倣や、やり取りを楽しむようにする。	生活や遊びに必要な言葉を身につけさせる。	日常生活に必要な挨拶をしたり友だちとの会話を楽しめるようにする。	人の話を聞いたり身近な文字に触れたりして、言葉への興味を広げさせる。																																																																																								
表現	いろいろな物に触れ全身で感触を楽しむ感性を育む。	保育士と一緒に手遊びをしたり、歌ったり、リズムに合わせて身体を動かして遊べるようにする。	いろいろな素材や用具に親しみいろいろな物を楽しむように工夫する。	音楽に親しんだり絵本や紙芝居に親しみをもち遊べるように工夫する。	音楽に親しみ友だちと歌ったり合奏したり一つのものを作り上げる楽しさを味わえるようにする。	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり演じて遊ぶ楽しさを味わわせ、体操や英語教室、マーチングなどに目標を持って取り組むように工夫する。																																																																																								
食 育	食を営む力の基礎 適切な援助により、食に対する意欲を持てるように配慮する。	色々な食べ物を見たり、味わったりし、食材に興味を持てるように工夫する。	様々な食材を感じ、意欲的に食べることができるよう食育に努める。	健康・安全など、食生活に必要な基本的な習慣や態度を身につけさせる。	できるだけ多くの種類の食べ物でも調理を味わい、苦手なものでも食べようとする気持ちを育てる。	物番活動、栽培活動、絵本、エプロンシアター等を通して、食べ物への関心を高め、食事をとろうとする態度を育てる。																																																																																								
健康支援	・健康発育発達状況の把握 ・心身状態や家庭生活、養育状態の把握 ・内科、歯科健診(年2回) ・異常が認められた時の対応			研修計画	・県外研修 ・県保連主催の研修会 ・園内研修(保育内容、ケース会議) ・県保連むつ支部年齢別部会 ・研修報告会																																																																																									
環境・衛生管理	・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒及び消毒、安全管理及び自主点検 ・全職員の検体			特色ある保育	・文字のおけいこ(文字遊び)、数のおけいこ(数あそび)、体操教室、英語教室、マーチング教室、読み聞かせなどの取り組み																																																																																									
安全対策事故防止	・毎月の避難訓練(火災、地震、不審者対応) ・消防署査察、防火設備点検、消火訓練 ・交通安全教室			地域行事参加	・老人ホーム等、福祉施設での、遊戯・マーチング等の発表 ・ふるさとまつり、商工まつりへの参加																																																																																									
保護者・地域への支援	・育児相談事業 ・実習生、職場体験、ボランティアの受け入れ ・地域子育て支援センターの開設(支援室)			自己評価	・保育園の評価(全体の反省による保育課程の反映) ・保育士の評価(自己評価と子ども評価の確立)																																																																																									

2019年度

## 職務分担表

大畑中央保育園

NO. 1

NO	担任	氏名	職名	職務分担事項
1		宮木みつ子	園長	園業務の総括。人事管理。保育業務、給食業務の管理。行政機関、関係団体、保護者、地域社会との連絡調整。園の保安点検衛生管理。保育業務(小学校との繋がり:文字や教のおけいこ、他)。法人、施設の事務処理。予算の編成と調整配分。現金管理。保健衛生・健康管理及び食中毒防止指導者。評価責任。保育日より作成。防災管理。災害時における避難責任者(非常食・非常具・避難経路など)。
2		菅原 美幸	主任保育士	保育指導計画の立案、制作、指導。特別の行事に関する計画の作成、指導。行事に対する手紙作成。職員研修計画の立案、実施。職員の指導、助言及び各組の運営・管理の指導、助言。全クラス保育士補佐。苦情受付担当。一時預かり担当。初任者指導担当。安全教育計画の立案及び指導(安全点検担当)。マーチング指導責任者。体操指導責任者。
3	未満児指導	北上あゆ子	保育士 副主任	3歳未満児の運営・管理・指導。初任者指導。一時預かり担当。マーチング指導。体操指導。
4	ひよこ 0歳児	新田 梨奈	保育士 乳児保育リーダー	ひよこ組(0歳児)の運営・管理・指導。一時預かり担当。マーチング指導。
5	ひよこ 0歳児	荻谷奈美枝	准看護師 (保育士) 保健衛生管理リーダー	ひよこ組(0歳児)の運営・管理・指導。園児の健康管理。職員の健康管理。一時預かり担当。送迎バス管理補助。検体集荷。安全点検担当。
6	ひよこ 0歳児	佐藤志津香	保育士 (保育補助)	ひよこ組(0歳児)の運営・管理・指導の補助。体操指導。
7	りす 1歳児	藤田みのり	保育士	りす組(1歳児)の運営・管理・指導。一時預かり担当。
8	りす 1歳児	石倉美穂子	保育士 (保育補助)	りす組(1歳児)の運営・管理・指導の補助。
9	めばえ 2歳児	小林 瑠美	保育士	めばえ組(2歳児)の運営・管理・指導。一時預かり担当。体操指導。
10	めばえ 2歳児	三浦えり子	保育士	めばえ組(2歳児)の運営・管理・指導。一時預かり担当。体操指導。
11	めばえ 2歳児	久野華乃子	保育士 (保育補助)	めばえ組(2歳児)の運営・管理・指導の補助。
12	星 3歳児	畑中 詠美	保育士 幼児教育リーダー	星組(3歳児)の運営・管理・指導。一時預かり担当。マーチング指導。体操指導。
13	光 4歳児	畑中 志帆	保育士 副主任	光組(4歳児)の運営・管理・指導と3歳以上児の運営・管理・指導。一時預かり担当。マーチング指導。体操指導。
14	虹 5歳児	井戸端沙耶香	保育士 専門リーダー	虹組(5歳児)の運営・管理・指導。一時預かり担当。マーチング指導。体操指導。



NO	担任	氏名	職名	職務分担事項
15	以上児補助	佐々木奈々	保育士	以上児を中心とした保育補助（運営・管理・指導）。一時預かり担当。体操指導補助。
16	未満児補助	赤石いづみ	保育補助	未満児を中心とした保育補助（運営・管理・指導）。
17	未満児補助	七島いづみ	保育補助	未満児を中心とした保育補助（運営・管理・指導）。
18		宮本 博美	子育て支援員	子育て支援事業（立案・運営・管理）責任者。
19		市ノ渡真琴	子育て支援員	子育て支援事業（立案・運営・管理）。
20		工藤 直子	事務主事 専門リーダー	会計管理（給与、その他）。法人・施設の事務管理。給食関係帳簿の記帳整理。予算の編成と調整配分補佐。
21		越後 千穂	栄養士 専門リーダー	献立表の作成責任者及び調理の実施。炊具食器の保管・管理責任者。給食関係帳簿の記帳整理責任者。給食会議の記録。給食業務の管理。給食に関する衛生管理。食中毒の防止。非常食管理。
22		高松 浩一	調理師	献立表の作成及び調理の実施。炊具食器の保管・管理。給食関係帳簿の記帳整理。給食会議の記録。給食業務の管理。給食に関する衛生管理。食中毒の防止。非常食管理。
23		佐々木洋子	調理師	献立表の作成及び調理の実施。炊具食器の保管・管理。給食関係帳簿の記帳整理。給食会議の記録。給食業務の管理。給食に関する衛生管理。食中毒の防止。非常食管理。
24		上代 利一	用務員	園の運営管理上の雑務。園舎内外の整理・清掃・美化。施設の保安・点検。災害時における避難担当。
25		石村 春年	委託運転手	送迎バスの運転と管理
26		前田 尚孝	嘱託医師 (内科)	園児の内科健康診断年2回、並びに保健助言。
27		上條 守夫	嘱託医師 (歯科)	園児の歯科健康診断年2回、並びに保健助言。

# 2019年度 年間行事予定表

大畑中央保育園

日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	日	10月	11月	12月	1月	2月	3月	日
1	月 入園・運動式 総会、安全点検	水 即位の日	土	月 安全点検	木 安全点検	日	1 火 安全点検	金 安全点検	日	水 元旦、年始休業	土	日	1	
2	火 園内研修	木 国民の休日	日	火	金	月 安全点検	2 水	土	月 安全点検	木 //	日	月 安全点検	2	
3	水	金 憲法記念日	月 安全点検	水 体操教室	土	火	3 木 秋の遠足	日 文化の日	火 発表会公開 リハーサル	金 //	月 豆まき会 安全点検	火	3	
4	木 避難訓練：火災 父母の会役員会	土 みどりの日	火	木 避難訓練 (火災)	日	水 英語教室	4 金	月 振替休日	水 体操教室 検体	土	火 体育館下見	水 英語教室	4	
5	金 英語教室	日 こどもの日	水 体操教室	金	月	木 避難訓練 (地・火・津)	5 土	火	木 英語教室 読み聞かせ教室	日	水 体操教室	木 卒園式 リハーサル	5	
6	土	月 振替休日	木 総合避難訓練	土	火 避難訓練 (火災)	金	6 日	水 英語教室 読み聞かせ教室	金	月 安全点検	木 体操発表会 リハーサル	金	6	
7	日	火 安全点検	金	日	水 英語教室 読み聞かせ教室	土	7 月	木	土 発表会	火	金	土 卒園式	7	
8	月	水 体操教室 検体	土	月 マーチング教室	木	日 誕生会 お化け屋敷	8 火	金 七五三参り	日	水 英語教室 検体 読み聞かせ教室	土	日	8	
9	火	木 避難訓練 (地・火・津)	日	火	金 マーチング教室	月	9 水 英語教室 検体 読み聞かせ教室	土 保育参観	月	木 避難訓練 (地震・火災)	日	月	9	
10	水 体操教室 内科健診 検体	金 交通安全教室	月	水 英語教室 検体 読み聞かせ教室	土	火 マーチング教室	10 木	日	火 避難訓練 (地震・火災)	金	月	火	10	
11	木 歯科健診	土	火	木	日 山の日	水 体操教室 検体	11 金	月	水	土	火 建国記念の日	水 体操教室 検体	11	
12	金	日	水 英語教室 検体 読み聞かせ教室	金	月 振替休日	木	12 土	火 フェスティバル	木 避難訓練 (地震・火災)	日	水 検体 体操発表 会リハーサル	木 避難訓練 (地震・火災)	12	
13	土	月	木	土 ねぶた運行 夕涼み会	火	金	13 日	水 体操教室 検体	金	月 成人の日	木 英語教室 読み聞かせ教室	金	13	
14	日	火	金	日	水 検体	土 大畑祭り	14 月	木 体育の日	土	火	金	土	14	
15	月	水 英語教室 読み聞かせ教室	土 保育参観	月 海の日	木 大畑ふるさと 祭り	日	15 火	金	日	水 体操教室	土 体操発表会	日	15	
16	火	木 春の遠足	日	火	金	月 敬老の日	16 水	土 体操教室	月	木 英語教室	日	月	16	
17	水 英語教室 読み聞かせ教室	金	月	水 体操教室	土	火	17 木	日 誕生会 お店屋さん	火	金 職員会議	月	火	17	
18	木	土	火 マーチング教室	木 誕生会 職員会議	日	水 職員会議	18 金	月	水 体操教室	土	火 避難訓練 (火災)	水 体操教室	18	
19	金 マーチング教室	日	水 体操教室	金	月 英語教室	木 避難訓練 (不審者)	19 土	火 誕生会 職員会議	木 誕生会 クリスマス会	日	水	木 誕生会 お別れ会	19	
20	土	月	木 避難訓練 (浸水)	土	火	金 海の子との 交流会	20 日	水 英語教室	金	月	木 ひな祭りの集い 布団持ち帰り ～22日	金 春分の日	20	
21	日	火 職員会議	金	日	水 職員会議	土	21 月	木 園内人事交流 ～11/2	土	火	金 そり遊び	土	21	
22	月	水 体操教室	土	月 水泳教室：年長	木	日	22 火	金 即位礼正殿の儀	日	水 体操教室	土	日	22	
23	火	木	日	火 水泳教室：年中	金 運動会総練習 布団持ち帰り ～24日	月 秋分の日	23 水	土 職員会議	土 勤労感謝の日	月	木 誕生会	日 天皇誕生日	23	
24	水 体操教室	金 布団持ち帰り ～25日	月	水 水泳教室：年長	土	火 英語教室 読み聞かせ教室	24 木	日 英語教室	火 英語教室	金 布団持ち帰り ～25日	月 振替休日	火	24	
25	木 誕生会子供の日 集い 職員会議	土	火 職員会議	木 水泳教室：年中	日	水 体操教室	25 金	月 布団持ち帰り ～26日	月	水 餅つき会	土	火 職員会議	水 英語教室 読み聞かせ教室	25
26	金 布団持ち帰り ～27日	日	水 英語教室	金 水泳教室：年長 布団持ち帰り ～27日	月	木 誕生会	26 土	土	木	日	水 体操教室	木 職員会議	26	
27	土	月	木 誕生会 七夕の集い	土 運動会総練習	火 布団持ち帰り ～28日	金	27 日	水 体操教室	金 布団持ち帰り ～28日	月	木 卒園式 リハーサル	金 布団持ち帰り ～28日	27	
28	日	火 マーチング教室	金 布団持ち帰り ～29日	日	水 体操教室	土	28 月	木 テーブルマナー 布団持ち帰り ～30日	土	火	金 そり遊び 職員会議	土 英語教室	28	
29	月 昭和の日	水 英語教室	土	月	木 運動会体育館 練習	日	29 火	金	日 年末休業	水 体操教室	土	日	29	
30	火 退位の日	木 誕生会	日	火	金	月	30 水	土 体操教室	月	木	月	月	30	
31		金		水 英語教室	土 運動会		31 木	日 避難訓練 (火災)		火 //	金		火	31
備考	内科健診 歯科健診		大掃除週間 6/10～					内科健診 歯科健診		大掃除週間 12/23～			大掃除週間 3/23～	

# 健康診断・身体測定実施計画

子ども達の健やかな成長は、保護者はもちろん社会全体の願いである。人々のライフスタイルが変化するとともに、子どもの健康問題も大きく変化してきている現在、保育活動の中で子ども達の健康を保つことは保育における最も重要な課題である。

従って、保育士・教諭は常に子ども達の健康や発育状態を把握することに努めることを忘れてはならない。

## 1. 内科検診

年2回園医が来園し全園児に視診、聴診、触診を行い園児に異常がないか診察する。

○健診の結果は「健康診断票」に記入し、診察結果を保護者に知らせる。

○異常が発見された場合には、病院で治療・検査してもらうよう保護者に連絡する。

○病院での治療・検査結果を保護者から保育園に連絡してもらうよう依頼する。

## 2. 歯科検診

年2回園医が来園し全園児に歯並び、噛み合わせ、虫歯、口腔疾患、口腔異常を診察する。

○健診の結果は「健康診断票」に記入し、診察結果を保護者に知らせる。

○異常が発見された場合には、歯科医院で治療・検査してもらうよう保護者に連絡する。

○歯科医院での治療・検査結果を保護者から保育園に連絡してもらうよう依頼する。

## 3. 身体測定

園児の健康状態、発育状態を把握するために月1回の体重・身長測定を実施する。

月	実施内容		実施内容
4月	内科健診、歯科健診、身体測定	10月	内科健診、歯科健診、身体測定
5月	身体測定	11月	身体測定
6月	身体測定	12月	身体測定
7月	身体測定	1月	身体測定
8月	身体測定	2月	身体測定
9月	身体測定	3月	身体測定

# 大畑中央保育園

## 防火管理者規定及び任務分担表

防火管理者 園長 宮木 みつ子

※火気使用設備器具

(使用箇所・器具の点検、検査と管理)

◎：責任者氏名

○ 調理室

◎ 越後千穂、高松浩一  
佐々木洋子

○ 事務室

◎ 工藤直子、宮木みつ子  
菅原美幸

○ 保育室

乳児室(0歳児、ひよこ組)

◎ 新田梨奈、苅谷奈美枝  
佐藤志津香

ほふく室(1歳児、りす組)

◎ 北上あゆ子、藤田みのり  
石倉美穂子

保育室(2歳児、めばえ組)

◎ 三浦えり子、小林瑠美  
久野華乃子

保育室(3歳児、星組)

◎ 畑中詠美

保育室(4歳児、光組)

◎ 畑中志帆

保育室(5歳児、虹組)

◎ 井戸端沙耶香、佐々木奈々

子育て支援室

◎ 宮本博美・市ノ渡真琴

○ 遊戯室

◎ 菅原美幸・上代利一

○ 医務室

◎ 菅原美幸・上代利一

○ ホームタンク

◎ 越後千穂・高松浩一  
佐々木洋子

※建築物、電気関係、機械設備

○ 建築物(破損箇所の調査)

◎ 宮木みつ子・上代利一

○ 電気設備(不良配線等の調査)

◎ 宮木みつ子・上代利一

※消火警報設備

○ 消火器、火災報知器の点検整備

◎ 宮木みつ子・上代利一

※避難誘導設備

○ 誘導灯、除雪、非常口の点検整備

◎ 上代利一

○ 避難通路の確保

◎ 菅原美幸

# 職員研修計画

## 1. 目的

平成30年4月1日から適用される保育所保育指針総則には、「保育所における保育士は、保育所の役割及び機能が発揮されるように、倫理観に裏付けられた専門的知識、技術及び判断をもって、子どもの保育するとともに、子どもの保護者に対する保育に関する指導を行うものであり、その職務を遂行するための専門性の向上に絶えず努めなければならない。」と規定されている。保育所（保育園）に求められている質の高い保育・多様な保育ニーズへの対応・子育て支援サービスに、職員の自己学習や保育活動での経験及び研修を通して深められた知識や技術並びに人間性が実践として活かされるように常に自己研鑽に努めることが必要である。給食関係者、用務員も含め資質向上のために職員研修を定期的を実施する。

## 2. 研修項目

### (1) 園内研修

<目的> 職員間のコミュニケーションを活発にし、知識・情報を共有化する。

<内容> ① 研修内容のフィードバックを行う。

② 文字遊び、数字遊び・おけいこや体操、マーチング、その他の日常の園児の様子や保護者への対応について、情報を共有化し指導のあり方などについて共通理解を図る場とする。

③ 各種マニュアルや全職員共通理解資料等を熟読する。

④ 園外研修などの報告の場とする。

⑤ 実技研修（体操、マーチング）を実施する。

### (2) 園外研修

<目的> 全国保育連合会、青森県保育連合会の主催やむつ支部主催の研修会等へ参加する事により保育士としてのより高い知識や経験、技術を身につける。

<内容> ① むつ支部の各部会（施設長部会～用務員部会）に参加し、他の園の情報や、日常の保育活動などについて交換することにより、保育環境や保育方法などについて見直しを図る機会とする。

② 研修会に参加することにより年齢・月齢に応じた具体的実践方法などについて全職員で協議したり年齢別で確認できる場とする。

③ 保育所保育指針などについての情報を研修会に参加した職員が伝達する場とする。

④ 栄養士、調理員については、支部部会への参加も含め、県支部主催の食育に関する研修会に参加し、日常の仕事に活かすようにする。

⑤ 事務担当者については、経理事務などの研修会に参加し園長の指導管理のもと、事務体制の確立と資金管理及び補助金業務に関する知識を取得するための研修に励むようにする。

## 3. 研修内容

研修項目	研修内容
園内研修	毎月実施し、厚生省や県関係、市関係の情報を確認したり、日常の保育活動の見直しを図る
園外研修	各種研修会（全国、県、市の開催研修）に参加することにより、業務内容に関する高い知識や経験、技術を身につける。また、研修後は研修報告書を作成する。

# 避難訓練実施計画

保育活動中の災害は、園児たちの生命に危険を及ぼす可能性が高い。本園は海岸に近いため津波、川の増水による災害も考えられる。園児たちは主体的判断力に欠けているため、避難訓練(火災・地震・大津波・増水・その他)を毎月実施し、火災や津波などに対する危機意識を高めたいと考えている。

## 1. 日常の点検活動

- (1) 火災報知機、消火器、非常灯、園内放送機器の点検を毎月行う。
- (2) 園舎内の防火管理者を決め、担当箇所(point)の点検を避難訓練実施日に行う。
- (3) 点検の結果、修理などが必要な場合は園長に報告する。
- (4) 大津波警報などで避難する場合の避難道(大畑小学校の上の空き地や大畑中学校までの避難道)の安全確認を毎月実施する。
- (5) 不審者対応のために日常から施錠などの確認をする。

## 2. 火災発見、地震・大津波警報、川の増水、不審者への対応などによる一次避難

### (1) 火災発見の場合

- ① 火災を想定し、発見者は、消火器を使用し初期消火に当たると同時に、大声で「火災発生」を呼称し、火災報知機を作動させる。
- ② 事務室では火災状況を把握し退避経路などを放送で指示し、消防署へ通報する。
- ③ 保育室及び遊戯室にいる職員は、園児を直ちに園庭に避難させる。
- ④ 全員避難後に残留園児がないことを確認する。

### (2) 地震・大津波警報の場合

- ① 地震による揺れを感じたことを想定し、放送で指示し、保育室や遊戯室にいる場合は頭部を保護させながら安全確保できる場所で待機する。
- ② 揺れがおさまったことを想定し、職員の指示で、非常口から園庭に避難する。
- ③ 事務室では、テレビやラジオなどで情報収集し「大津波警報」が発令された場合を想定し、大畑小学校の上の空き地や大畑中学校への避難を指示する。
- ④ 大津波到達予想時刻などによっては、送迎用バスなどを使用し移動することも考えられるので計画の中にいれる。(玄関に避難場所などの張り紙や携帯電話等を使用し保護者への連絡を確実に実施する。)

### (3) 川の増水の場合

- ① 大畑川の増水を想定した避難訓練(避難勧告の想定)は、事務室から放送で指示し川から遠い高台(大畑中学校)へ送迎用バスなどを使用し移動(避難)する。
- ② 時間的に余裕がない場合も想定し、職員の自家用車で避難することも検討する。日常から園児の配車と移動経路の確認をする。
- ③ 玄関に避難場所などの張り紙や携帯電話等を使用し保護者への連絡を確実に実施できるようにする。

### (4) 不審者対応の場合

- ① 園内に不審者が侵入した場合の避難と対処の仕方について理解し、危険回避できるようにする。
- ② 訓練は、不審者(想定)役を ALSOK 職員へ依頼し、非常放送及び連絡(合言葉)を正確に聞き取り速やかに避難することができようにする。

3. 避難訓練実施予定(年間計画)

月	実施内容	月	実施内容
4	火災を想定した避難訓練	10	火災を想定した避難訓練
5	地震・火災・津波を想定した避難訓練	11	地震・火災を想定した避難訓練
6	総合避難訓練(火災、通報) 浸水を想定した避難訓練	12	地震・火災を想定した避難訓練
7	火災を想定した避難訓練	1	地震・火災を想定した避難訓練
8	火災を想定した避難訓練	2	火災を想定した避難訓練
9	地震・火災・津波を想定した 避難訓練 不審者を想定した避難訓練	3	地震・火災を想定した避難訓練

# 2019年度 食育計画

担当：越後

## ◎ねらい

- ・野菜づくりやクッキング活動を通して、食材に親しみや興味を持つ。
- ・自分たちで育て、収穫し、関わったことで感謝の心、思いやりの心を育む。
- ・「食べることの大切さ」、「みんなで食べる楽しさ」を感じる。

## ◎保育所における食育の目標

(楽しく食べる子どもに～保育所における食育に関する指針 厚生労働省より抜粋・編集)

「食を営む力」は生涯にわたって育成されるものであり、その基礎を培うことが乳幼児期の目標。

### ・めざす子どもの姿～楽しく食べる子ども～

#### ①お腹がすくリズムのもてる子ども

⇒たくさんあそび、体験し、食事の時間になったら「お腹がすいた」と感じられるような生活リズムを送る。自分自身で空腹感を満たす適量がわかる。

#### ②食べたいもの、好きなものが増える子ども

⇒栽培や収穫した物を調理する体験などを通して、五感が育ち、さまざまな食べ物に興味や関心を持つ。さらに、自然の恵みに感謝する気持ちが芽生える。

#### ③一緒に食べたい人がいる子ども

⇒友達や保育者と食事の時間を過ごすことで、誰かといっしょに食べる楽しさを実感し、食べることへの意欲や、人に対する愛情、信頼感が育つ。

#### ④食事づくり、準備にかかわる子ども

⇒給食の下ごしらえやクッキング保育などを通して、食べることと食事作りや食事の場を準備する大切さとが結びつき、食べる喜び（生きる喜び）に気づく。

#### ⑤食べ物を話題にする子ども

⇒食材の生産者や食事を作る人と身近にふれあうことで、栽培や食材のいのちにも関心が高まり、食べ物についての話題で会話をするようになる。

## ◎年齢別目標

	目標	内容
ひよこ組 (0歳児)	もぐもぐ、かみかみ、美味しいね！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心できる保育者と楽しい雰囲気の中で、喜んで食事ができる。</li> <li>・一人ひとりの成長に合わせ、離乳食を進め、食べたい気持ちを育てる。</li> </ul>
りす組 (1歳児)	食べるの大好き！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムを身につける。</li> <li>・自分で食べようとする意欲を大切にし、いろいろな食材に興味を持つ。</li> </ul>
めばえ組 (2歳児)	あの味、この味、美味しいね！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した生活リズムを確立する。</li> <li>・いろいろな味付けや食材を知り、食べる楽しさを知る。</li> <li>・食事時間の中での会話を楽しむ。</li> </ul>



ほし組 (3歳児)	みんなで一緒に食べようね!	<ul style="list-style-type: none"> <li>• みんなで一緒に食べる楽しさを知る。</li> <li>• 食事のマナー、食具の使い方を知る。</li> <li>• 野菜の栽培を通して、食材に関心を持つ。</li> </ul>
ひかり組 (4歳児)	マナーを守って食べようね!	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 食事のマナーの大切さに気づき、友達と一緒に食べる楽しさを感じる。</li> <li>• 苦手な食材も食べてみようとする。</li> <li>• 野菜の栽培を通して、食材への興味、関心を深める。</li> </ul>
にじ組 (5歳児)	感謝して食べようね!	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 友達と一緒に食べる楽しさを味わいながら、落ちついた雰囲気でする。</li> <li>• 野菜の成長、収穫、クッキング活動を楽しみ、食への関心、興味を深め、感謝の気持ちを持つ。</li> </ul>

### ◎畑活動・クッキング活動

	クッキング活動	畑活動
4月		
5月		野菜の種まき…じゃがいも・大根・とうもろこし 枝豆・ほうれん草 苗植え …ミニトマト・きゅうり
6月		苗植え…さつまいも 収穫…ほうれん草
7月		収穫…ミニトマト・きゅうり・大根
8月		収穫…じゃがいも
9月	クッキング…コロッケ作り (以上児)	収穫…とうもろこし・枝豆 とうもろこしの皮むき・枝豆のもぎとり作業
10月		収穫…さつまいも
11月	クッキング…さつまいもドーナツ作り (以上児)	
12月	もちつき会	
1月		
2月		
3月		

## アレルギー体質園児の

### 給食事故防止のために

1. 保護者からのアレルギー診断書の提出
2. 保護者からの代替え食の承諾（献立表配布時）
3. 当日の出欠状況の報告（給食室への連絡）
4. アレルギー食材を除去した調理（給食室）
  
5. 給食室での配膳準備段階で
  - ①アレルギーのチェック表の記入
  - ②別食器（ピンク）の使用
  - ③お盆を使用しての配膳
  - ④食札（園児名）の貼付
  
6. クラスでの配膳
  - ①チェック表の有無の確認をする。
  - ②アレルギー対応の園児の配膳は、最後にする。
  - ③チェック表は、配膳後に押印する。（事務的な押印にならないこと）

※通常と違う動きや変化の時は、必ず給食室に連絡し、確認すること。

※食前投薬をした職員が配膳・チェック表の押印をする。

#### 事故発生時の対応

1. 主任、園長に報告する。
2. 園児の体調を確認する。症状に応じた対応を検討する。
3. 保護者への連絡。
4. 継続して園児の体調の変化を見ていく。
5. 事故発生に至った原因を把握し、今後の事故防止について対策を取る。

様式1

(主治医)→(保育園)

保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表 (食物アレルギー・アナフィラキシー)

提出日 年 月 日

名前 男・女 平成 年 月 日生 ( 歳 ヶ月) 組

1 病型・治療		2 保育所での生活上の留意点		★保護者 (電話)
<b>A 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b> 1 食物アレルギーの関与する乳児性アトピー性皮膚炎 2 即時型 3 その他 (新生児消化器症状 ・ 口腔アレルギー症候群 ・ 食物依存性運動誘発アナフィラキシー ・ その他 _____ )	<b>B アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b> 1 食物 (原因 _____ ) 2 その他 (医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー ・ ラテックスアレルギー ・ _____ )	<b>A 給食・離乳食</b> 1 管理不要 2 保護者と相談し決定	<b>★連絡医療機関</b> (医療機関名)  (電話)	
		<b>B アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b> 1 不要 2 必要 下記該当ミルクに○、又は ( ) に記入 ミルフィー・ニュー MA-1・MA-mi・ベプディエット エレメンタルフォーミュラ その他 ( _____ )		
<b>C 原因食物・除去根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ < > 内に診断根拠を記載 1 鶏卵 < _____ > 2 牛乳・乳製品 < _____ > 3 小麦 < _____ > 4 ソバ < _____ > 5 ビーナッツ < _____ > 6 大豆 < _____ > 7 ゴマ < _____ > 8 ナッツ類 * < _____ > ( _____ ) 9 甲殻類 * < _____ > ( _____ ) 10 軟体類・貝類 * < _____ > ( _____ ) 11 魚卵 * < _____ > ( _____ ) 12 魚類 * < _____ > ( _____ ) 13 肉類 * < _____ > ( _____ ) 14 果物類 * < _____ > ( _____ ) 15 その他 * < _____ > ( _____ ) *類は ( _____ ) の中に具体的に記載すること。	<b>【除去根拠】 該当するもの全てを &lt; &gt; 内に番号を記載</b> ①明らかな症状の既往 ②食物負荷試験陽性 ③IgE抗体等検査結果陽性 ④未摂取	<b>C 食物・食材を扱う活動</b> 1 配慮不要 2 保護者と相談し決定	除去期間および再評価の見直し 1 6ヶ月 2 12ヶ月	
		<b>D 宿泊を伴う園外活動</b> 1 配慮不要 2 食事やイベントの際に配慮が必要		<b>E 除去食品で摂取不可能なもの</b> 病型・治療のCで除去の際に摂取不可能なものに○ 1 鶏卵: 卵殻カルシウム 2 牛乳・乳製品: 乳糖 3 小麦: 醤油・酢・麦茶 6 大豆: 大豆油・醤油・味噌 7 ゴマ: ゴマ油 12 魚類: かつおだし・いりこだし 13 肉類: エキス
<b>D 緊急時に備えた処方薬</b> 1 内服薬 (抗ヒスタミン薬、ステロイド薬) 2 アドレナリン自己注射薬 (「エピペン®」) 3 その他 ( _____ )		<b>F その他、配慮・管理事項 (自由記載)</b>	医療機関名 _____	

食物アレルギー (あり・なし) アナフィラキシー (あり・なし)

# アレルギーチェック表

平成〇年〇月  
大畑中央保育園

〇組      〇〇くん

☆食物アレルギー

そば・生卵

	献立	除去・代替え	給食室	保育室
1日				
2日				
3日				
4日				
5日				
6日				
7日				
8日				
9日				
10日				
11日				
12日				
13日				
14日				
15日				
16日				
17日				
18日				
19日				
20日				
21日				
22日				
23日				
24日				
25日				
26日				
27日				
28日				
29日				
30日				
31日				

〇〇くんの保護者様

平成〇年〇月〇日

大畑中央保育園

献立表ですが、〇〇くんの食物アレルギーによる除去食にマーカーでラインを引きました。  
2枚目以降にレシピがあり、その中に除去や代替えなどを示してあります。  
こちらを確認していただき、その内容でよろしければサインを記入し、提出してください。  
(お手数をおかけしますが、〇月〇日までにお願ひします。)  
また、毎月この確認を行いたいと思いますので、よろしくお願ひします。  
不明な点などございましたら、事務室までご連絡ください。  
また、事情により一部変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

名前

印

## ボランティア受入れについて（計画）

### 1. 目的

- (1) 将来、保育士を目指そうとしている中学生、高校生、短大生、専門学校生に呼びかけ、実際に子ども達との関わりを通して意識の高揚を図る。
- (2) 本園の子ども達が、保育士以外に中学生、高校生、短大生、専門学校生とのふれあいの機会とする。

### 2. 実施期間

2019年8月～9月

### 3. 実施内容

※各クラスの保育活動に参加する。

- ・自由保育
- ・合同保育
- ・体操教室
- ・文字、数のおけいこ（遊び）
- ・英語教室
- ・マーチング教室
- ・その他（各種行事）

### 4. その他

※ 実際に、保育の現場で仕事を体験することができる良い機会とするために、事前に全職員で役割分担などについて十分に話し合い共通理解を図る。